

令和4年度有田川町青少年育成町民会議主催

# 有田川町少年メッセージ

優秀作品（順不同・敬称略）

## 最優秀賞

「あたりまえは「奇跡」の連続」

吉備中学校2年

梅谷 彩花

「私と魔法のペーパー」

吉備中学校2年

佐々木 杏奈

## 優秀賞

「人と顔を合わせることの大切さ」

吉備中学校3年

堀 奏恵

「私の友達」

八幡中学校2年

西岡 優咲

## 入賞

「少し止まって、また歩こう」

吉備中学校3年

土井 歩佳

「自分から」

金屋中学校3年

北山 絢実

「地域のためにあいさつを」

石垣中学校1年

井上 陽路

## 講評



有田川町少年メッセージ  
審査委員長  
御霊小学校校長  
小切 佳生

ました。

また、作品の多くは、現在の日常生活の中で私たちのすぐ側にある本当に価値のあるもの、何気ないけれど本当に大切なことについて改めて気づかせてくれるものでした。24作品の中から、自分の経験に基づいて述べられているもの、さらに中学生らしいメッセージ性の豊かな作品を7作品選出し、8月21日（日）に有田川町少年メッセージ発表会の場で発表していただきました。

現在はまだまだ不自由な生活が続き、加えて不安定な社会情勢となつていきます。そのような状況において、この有田川町少年メッセージ発表会が、中学生の明るく前向きな姿に出会い、未来を担う若い世代への期待をさらに大きく感じる機会となったことに、改めて感謝したいと思います。

そして、応募していただいたすべての中学生の皆さまに大きな拍手を送ります。

4校の町立中学校から総数649作品の応募があり、そこから選出された24作品について審査を行いました。何より、このように多くの作品が、有田川町少年メッセージ発表会に寄せられたことを大変うれしく思います。審査した作品は、どの作品も純粹ではつらつとした中学生らしいものばかりでした。中学生が、自分たちを取り巻く社会の中の出来事に無関心でいるのではなく、自分に関わるべきことと捉え、一生懸命に知識や感性を働かせ、自分なりの考えを形成し、その考えを多くの人にメッセージとして伝えようとしていることに大変感動し